

## インフルエンザ流行注意報発令

～インフルエンザ・新型コロナにそなえ、手洗いと咳エチケットを心がけましょう～

第39週（9月25日～10月1日）の全市集計では、インフルエンザ注意報発令基準（1定点医療機関\*当たり1週間の患者報告数 10.00人）を超え、「14.96」となりましたので、**インフルエンザ流行注意報を発令**しました。新シーズン4週目における流行注意報発令は、調査開始後最も早いものとなります。年齢別では10歳未満の報告が全体の44.1%、15歳未満の報告が全体の72.7%となっており、学級閉鎖等の報告も増えています。

なお、新型コロナウイルス感染症については、第39週は「6.67」と減少傾向です（前週8.62）。一人ひとりが早めに感染予防策の徹底を心がけましょう。

※定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告する医療機関（市内153か所）

<経過>

定点当たりの患者報告数の経過は次の表のとおりです。

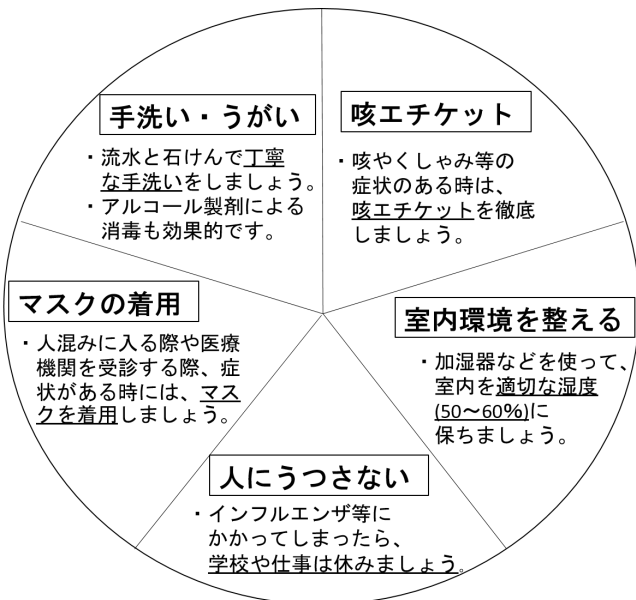
	2022/2023 シーズン				2023/2024 シーズン			
	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	第38週	第39週
患者報告数(人)	0.64	0.62	1.28	2.70	4.91	8.76	8.84	14.96

患者報告数は医療機関からの追加報告により数値が変動します。

横浜市衛生研究所 HP <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/eiken/>

### ✓ インフルエンザ等予防のポイント

※インフルエンザの予防策は新型コロナにも有効です



### ✓ インフルエンザ等にかかったかもしれないと思ったときは

- 子ども、高齢者、妊婦、持病のある方は症状が重くなりやすいため、医療機関を受診しましょう。
- 呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど重症化のサインがみられる場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

### ✓ インフルエンザ予防接種について

- 重症化予防のため、予防接種を受けましょう。
- ※高齢者インフルエンザ予防接種は10月から開始しています。

【参考】厚生労働省 HP 「令和4年度インフルエンザQ&A」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/QA2022.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/QA2022.html)

#### お問合せ先

(感染症対策全般について) 医療局健康安全課長

赤松 智子 電話 045-671-2442

(感染症発生動向について) 衛生研究所感染症・疫学情報課長

横山 涼子 電話 045-370-9279

# 横浜市インフルエンザ流行情報 4 号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

## 流行注意報が発令されました

### 【概況】

第 39 週(9 月 25 日～10 月 1 日)の定点あたりの患者報告数<sup>※1</sup>は、横浜市全体で **14.96** と、前週の 8.84<sup>※5</sup> から増加しました。

年齢別では、10 歳未満の報告が全体の 44.1%、15 歳未満の報告が全体の 72.7% を占めています。学級閉鎖等は、第 39 週にて 86 件(保育所・幼稚園 1 件、小学校 66 件、中学校 14 件、高等学校 4 件、その他 1 件)、患者数は 1,194 人です。

市内迅速診断キットの結果は、累計で **A 型 99.7%、B 型 0.2%、A・B 型ともに陽性 0.1%** と、A 型が多く検出されています。なお、全国のウイルス分離・検出状況<sup>※2</sup> では、AH3 型が多く検出されており、横浜市での検出状況も同様です。

今シーズンは、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されます。本格的な流行の前に、早めのワクチン接種を検討し、咳エチケットや正しい手洗い<sup>※3, ※4</sup> 等でインフルエンザを予防しましょう。

※1 定点あたりの患者報告数とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 153 か所)から報告された患者数の平均値です。

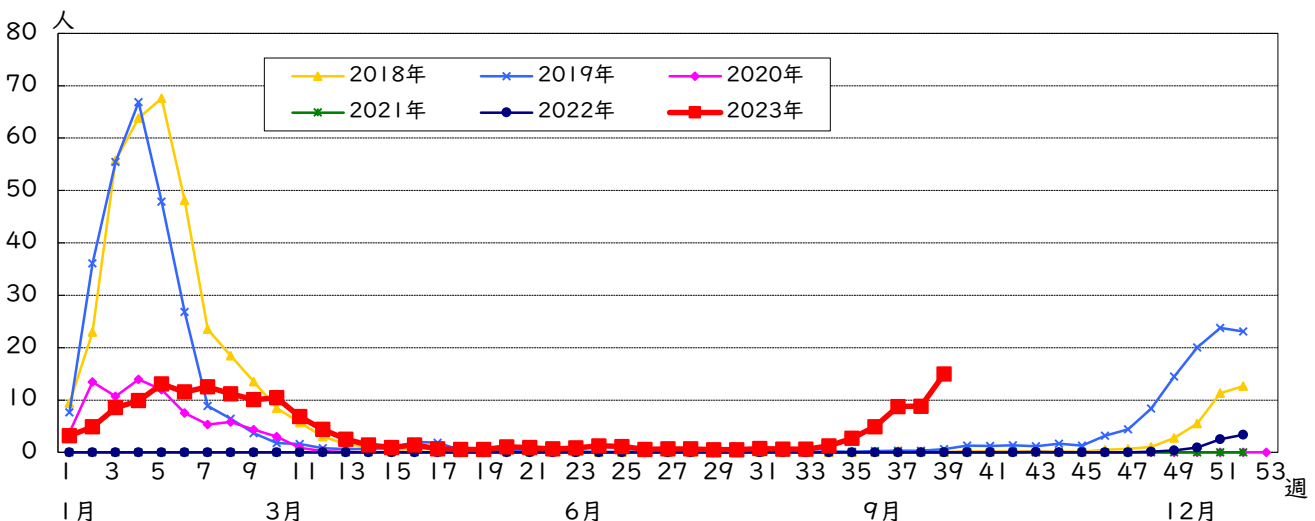
※2 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

※3 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

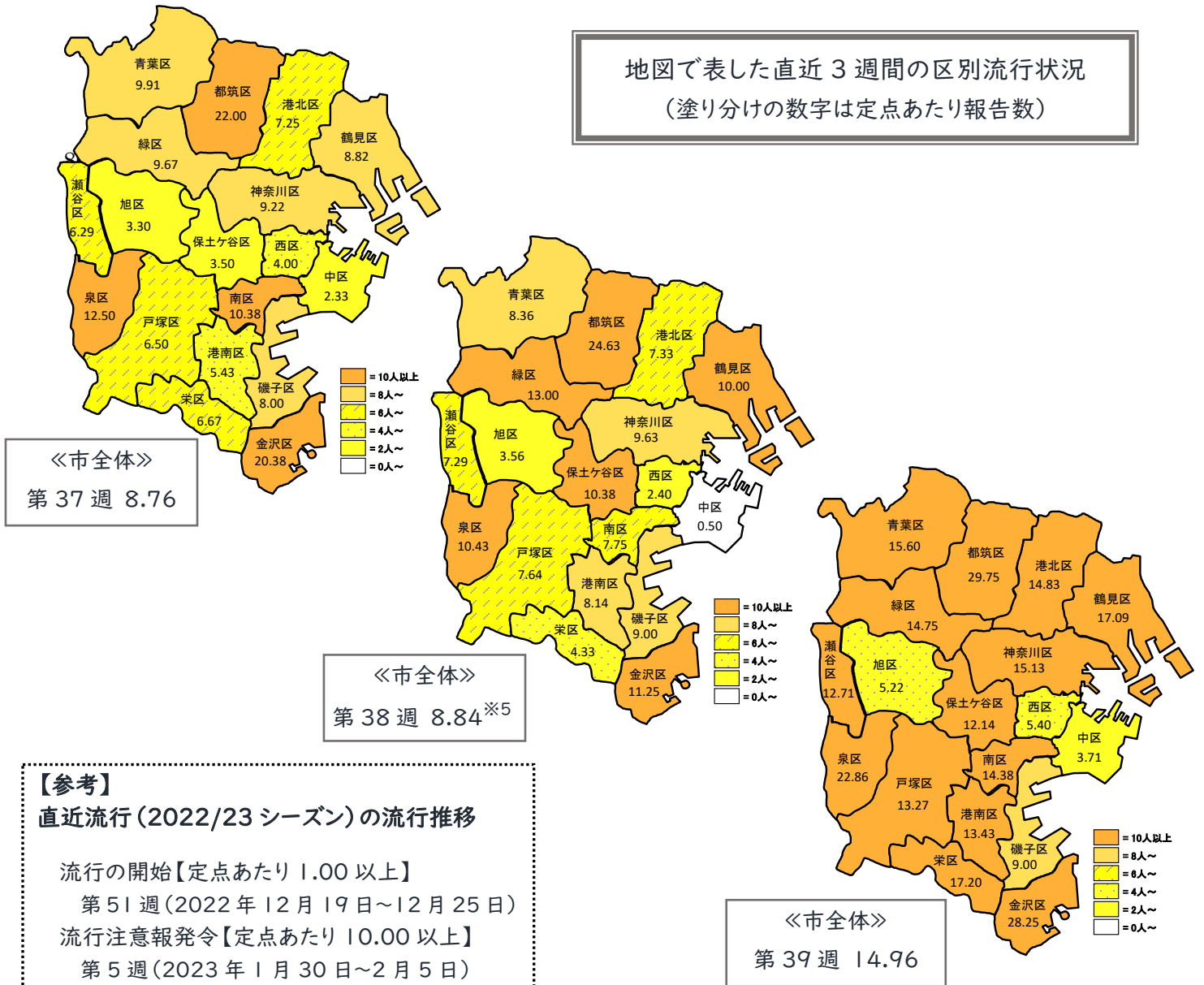
※4 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

### 【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2023/2024 シーズン開始の第 36 週 4.91、第 37 週は 8.76、第 38 週 8.84<sup>※5</sup> と増加が続き、第 39 週で 14.96 と、注意報発令基準値(定点あたり 10.00)を上回りました。**例年の同時期よりも、患者が多く発生しています。**



地図で表した直近3週間の区別流行状況  
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

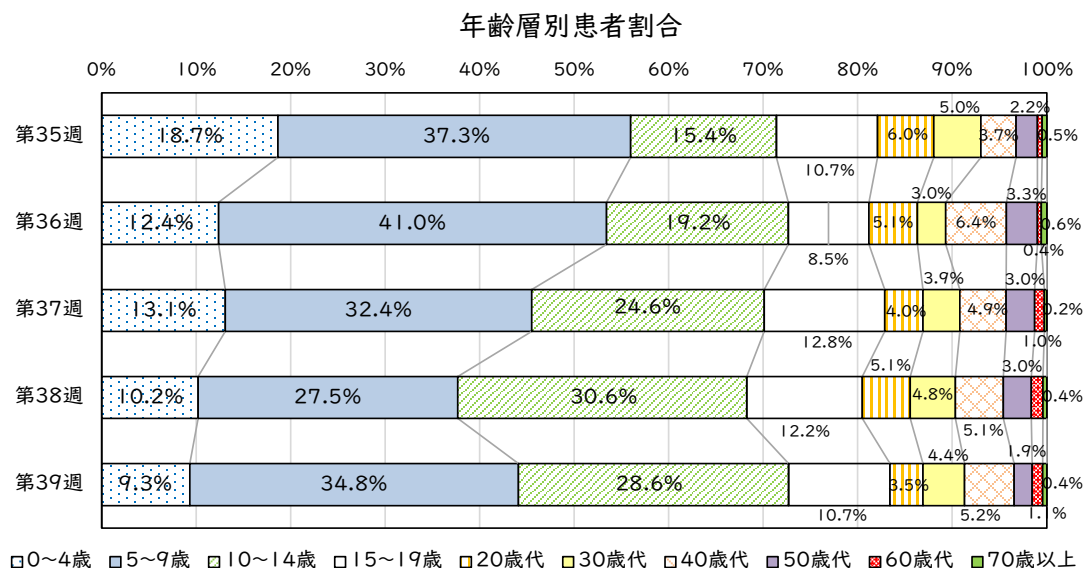


**【参考】**  
**直近流行(2022/23シーズン)の流行推移**  
 流行の開始【定点あたり1.00以上】  
 第51週(2022年12月19日~12月25日)  
 流行注意報発令【定点あたり10.00以上】  
 第5週(2023年1月30日~2月5日)  
 流行注意報解除【定点あたり10.00未満】  
 第11週(2023年3月13日~3月19日)

※5 追加報告のために、以前お知らせした情報から報告数が更新されました。

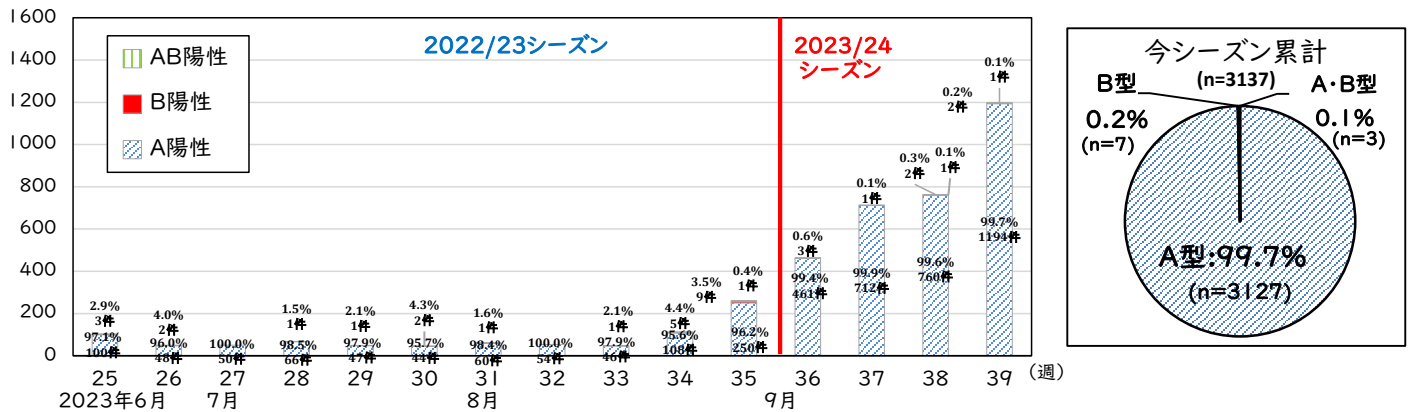
**【年齢層別集計】**

第39週の患者年齢構成は、10歳未満が44.1%、10歳から15歳未満が28.6%となっており、15歳未満が全体の72.7%を占めています。



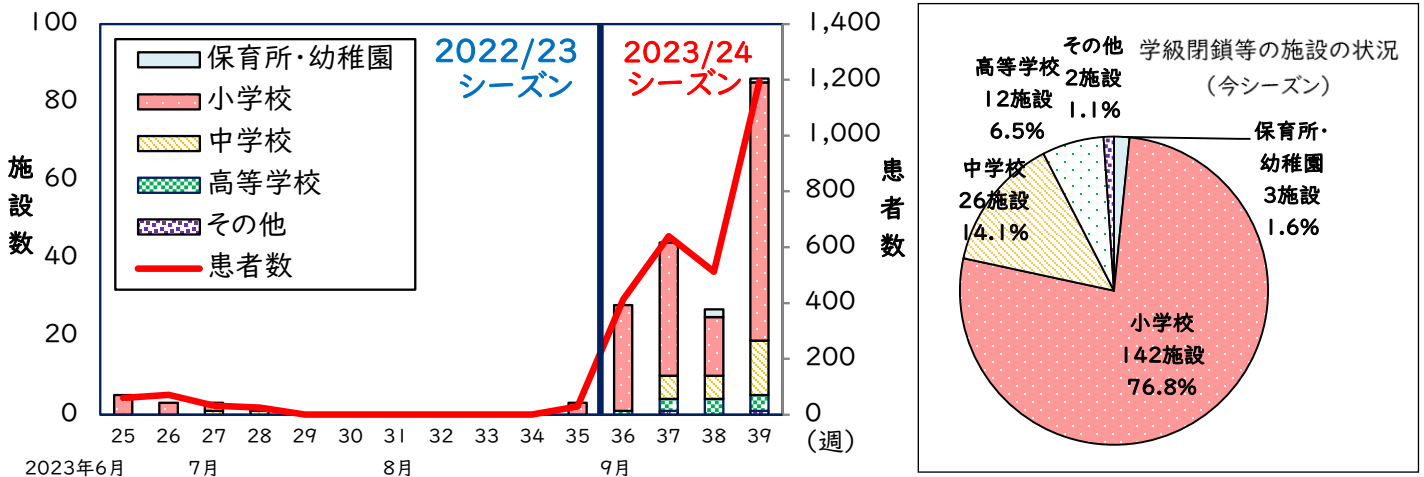
**【迅速キット結果】**

第39週の迅速キットの結果は、A型99.7%、B型0.2%、A・B型ともに陽性0.1%で、A型がほとんどを占めています。今シーズン累計は、A型99.7%、B型0.2%、A・B型ともに陽性0.1%となっています。



**【市内学級閉鎖等状況】**

第39週は、86件の報告(保育所・幼稚園1件、小学校66件、中学校14件、高等学校4件、その他1件)があり、報告された患者数は1,194人でした。今シーズンの累計では、第39週までに185件の報告があり、報告された患者数は延べ2,757人となっています。報告された施設の割合は、保育所・幼稚園1.6%、小学校76.8%、中学校14.1%、高等学校6.5%、その他1.1%となっています。



**\* 参考リンク**

近隣自治体の流行状況  
全国の流行状況

- [○神奈川県](#)
- [○川崎市](#)
- [○東京都](#)
- [○国立感染症研究所](#)

※ 小数点以下第2位を四捨五入するため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が100%にならない場合があります。

**【お問い合わせ先】** 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9279  
横浜市医療局健康安全課 TEL 045(671)2442